

科目名 (Subject)	自然・健康科学特論 c		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後 期
担当教員名 (Name)	沼田ゆかり (Yukari Numata) ・ 片山昇 (Noboru Katayama)	研究室番号 (Office)	化学研究室 生物学研究室
Office Hours	金曜日 10:30～16:00		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method) 経済の発展にともない食生活が豊かになる一方で、自然の喪失や食の安全性が問題となってきた。本講義では、生命と食料生産のしくみの基礎を学び、自然と食に関する諸問題の理解を目的とする。パワーポイントを用いた講義を中心とするが、中間・最終課題として、各自が調べた結果を報告していただく予定である。</p>			
<p>2. 授業内容 (Course contents) 第1～3週 食品の成分 第4～5週 食品に関する技術 第6～8週 食品の機能性 (プレゼンテーション) 第9～10週 生物の驚異の能力 第11～12週 農作物の起源と特徴 第13～15週 海と森からの恵み (プレゼンテーション)</p>			
<p>3. 使用教材 (Teaching materials) 特に指定しない。必要に応じて参考文献を示すとともに、重要事項はプリントで配布する。</p>			
<p>4. 成績評価の方法 (Grading) 出席状況、レポート、プレゼンテーション等を総合的に考慮して評価する。 出席率 30% 授業への参加度 (討論・調査など) 20% レポート 30% プレゼンテーション (中間・最終課題) 20%</p>			
<p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria) 秀 (100～90) : 生命と食糧生産のしくみについて秀でた理解力を示し、自然と食に関する問題について秀でた分析ができる 優 (89～80) : 生命と食糧生産のしくみについて優れた理解力を示し、自然と食に関する問題について優れた分析ができる 良 (79～70) : 生命と食糧生産のしくみについて良い理解力を示し、自然と食に関する問題について良い分析ができる 可 (69～60) : 生命と食糧生産のしくみについて理解力を示し、自然と食に関する問題について分析ができる 不可 (59～0) : 生命と食糧生産のしくみについて十分な理解力を持たず、自然と食に関する問題について分析ができない</p>			
<p>6. 履修上の注意事項 (Remarks) 自然科学の見地から食品について考察するので、日頃から自然と食に関する事象に関心を持ってもらいたい。</p>			

